

埼玉県環境白書の刊行にあたって



私たちは、豊かさや高い利便性を求めて社会や経済を
発展させてきましたが、一方で、地球環境に大きな負荷
を与えてきました。大量に排出される温室効果ガスによ
り、地球温暖化は日々刻々と進んでいます。微小粒子状
物質（PM2.5）による大気汚染は、国境を越えて広がる
環境汚染の深刻さを私たちに突きつけています。さらに、
東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故により、
放射性物質への対応とエネルギー問題の克服という未曾
有の課題にも直面しています。

これらの問題に対応するためには、環境・経済・社会のバランスのとれた「持続
可能な社会」の構築を目指し、私たち一人ひとりが環境と調和した生活を送る必要
があります。美しい自然とかけがえのない環境を守り、将来の世代に引き継いでい
くことは、今を生きる私たちの責務です。

本県では、「埼玉県環境基本計画」に基づき、埼玉の豊かな自然環境を守り伝える
ための様々な取組を進めています。

PM2.5の監視体制の充実、希少野生動植物の保護など生物多様性の保全、みどりの
保全と再生、太陽光発電の導入等による地球温暖化防止対策の推進のほか、「川の
国埼玉」の実現を目指す川の再生などに幅広く取り組んでいます。

また、エネルギー問題にも新たな視点、埼玉発の発想で積極的な取組を進めてい
ます。本県では地球環境への負荷が少ない再生可能エネルギーを中心に、コンパク
トなエリアでエネルギーの自立を図る「自立分散型エネルギー社会」を目指してい
ます。その実践モデルとして進めている「埼玉エコタウンプロジェクト」は、着実
にその成果を上げています。さらに、究極のクリーンエネルギーと呼ばれる水素を
日常生活や産業活動で利活用する「水素社会」の実現にも先進的にチャレンジして
います。

この「埼玉県環境白書」は、本県における環境の保全及び創造に関する施策の進
捗状況を取りまとめたものです。

この白書が、多くの県民の皆様の環境問題に対する理解を深めるとともに、環境
の保全・創造活動に取り組まれる際の一助となれば幸いです。今後とも、皆様の御
支援と御協力を心からお願い申し上げます。

平成26年12月

埼玉県知事 上田清司